サポート情報記事

# Short URL Management Web パーツを追加して構成する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

# 免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

## 免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

## 誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

## フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

## 「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

## お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

# 目次

はじめに 4

開始する前に 4

**Web** パーツをページに追加する 4

**Web** パーツに表示される内容 4

**Microsoft Graph** のアクセス許可 5

ライセンス 5

用語 6

# はじめに

**Short URL Management** Web パーツには、**Microsoft 365** テナントで作成されたすべての短縮リンクが一覧表示され、リンクの検索、作成、編集、削除を行えます。この記事では、Web パーツをページに追加する方法と、最初の読み込み後に確認する事項を説明します。

# 開始する前に

- **vitextra.short-url-online.webparts.sppkg** パッケージがアプリ カタログに展開されている。KB10057. Short URL Online を展開してセットアップする方法 を参照してください。
- ページを編集するアクセス許可がある。
- パッケージが要求する **Microsoft Graph** のアクセス許可がテナント管理者によって承認されている (後述)。

# Web パーツをページに追加する

1 **SharePoint** ページを開き、**編集** をクリックします。
2 Web パーツを配置する場所にカーソルを合わせ、**+** (**新しい Web パーツの追加**) をクリックします。
3 検索ボックスに **Short URL Management** と入力し、Web パーツを選択します。
1 一覧の上にある **Web パーツのタイトル** 領域をクリックし、タイトル (例: **短縮リンク**) を入力します。
2 **公開** (または **再公開**) をクリックして、ページを他のユーザーが利用できるようにします。

メモ

この Web パーツは、ページの通常のセクションに配置できるほか、フル幅のアプリ ページ (**アプリ ページ** レイアウトのページ) にも配置できます。クラシック SharePoint ページはサポートされていません。

# Web パーツに表示される内容

- **コマンド バー** - 行が選択されていない場合は **新しいリンク**、1 行が選択されている場合は **編集**、1 行以上が選択されている場合は **削除** (複数の場合は、括弧内に行数が表示されます)。右端の **更新** アイコンで、一覧を再読み込みします。

- **検索ボックス** - タイトルまたはリンクで検索します。
- **一覧** - **タイトル**、**リンク**、**登録日時**、**登録者** の列があります。**リンク** 列には、完全な短縮リンクとコピー用のアイコンが表示されます。
- **ページ区切り** - 1 ページに 15 件のリンクが表示され、最初、前、次、最後のページに移動するボタンがあります。

この Web パーツには、現在のサイトのリンクだけでなく、テナント全体のリンクが表示されます。

検索と並べ替えについては、KB10476. Short URL Management で短縮リンクを検索、並べ替え、ページ移動する方法 を参照してください。

## Microsoft Graph のアクセス許可

**登録者** 列には、各リンクを作成したユーザーの名前が表示されます。名前を解決するために、このソリューションは Microsoft Graph を使用し、**Directory.Read.All** と **User.Read.All** の 2 つのアクセス許可を要求します。テナント管理者は、SharePoint 管理センターでこれらを 1 回承認する必要があります。手順については、KB10360. SharePoint 管理センターで Vitextra ソリューションの Microsoft Graph API アクセス許可を承認する方法 を参照してください。

**警告**

アクセス許可が承認されるまでは、短縮リンクの一覧は引き続き使用できますが、**登録者** 列に作成者の名前が表示されない場合があります。

## ライセンス

Short URL Online のライセンスはテナント単位です。試用期間またはサブスクリプションが終了すると、Web パーツに製品の購入を促すメッセージが表示されます。KB10364. Vitextra の試用期間またはサブスクリプションが終了するとどうなるか を参照してください。

**ヒント**

Web パーツは、短縮リンクを管理するユーザーだけがアクセスできるサイト (たとえば、イントラネットの管理サイト) のページに配置します。

# 用語

**Microsoft 365**
Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

**Microsoft Graph**
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

**SharePoint**
SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。